

『知財創造教育セミナー第1回 （2022.04.26）』
アンケート結果

回答数15件

設 問	選 択 肢	人数	割 合		備 考	
・ お立場	① 生徒（高校生）	3	20%			
	② 学生（大学生）	0	0%			
	③ 小学校教職員	0	0%			
	④ 中学校教職員	0	0%			
	⑤ 高校教職員	8	53%			
	⑥ 大学教職員	2	13%			
	⑦ 学校の教育活動と連携している民間	0	0%			
	⑧ 教育行政	2	13%			
	⑨ 行政	0	0%			
	⑩ その他	0	0%			
・ あなたの気持ちは？		参加前		参加後		
	① ワクワク	10	67%	14	93%	
	② まあまあ	5	33%	1	7%	
	③ しゅしゅ	0	0%	0	0%	
	④ いやいや	0	0%	0	0%	
・ 本日の発表はあなたにとって有益でしたか。	① そう思う	15	100%			
	② ややそう思う	0	0%			
	③ ややそう思わない	0	0%			
	④ そう思わない	0	0%			
・ 本日を振り返って、一番印象に残っていることは何ですか。また、できれば、その理由も教えてください。	・ 水産高校の取組の課題の先進性					
	・ 水産高校の発表の中で説明された、養殖業が海を汚染する要因になってること。少し考えてみれば想像がつくことだけど、初めて知ったから。					
	・ 籠原先生の「楽しく充実した高校生活を過ごして欲しい」という言葉。知財教育を受け高校時代を過ごし、50歳を超える歳になった教え子が社会で活躍している話を聞くと久しぶりにワクワクしました。					
	・ 先生のお名前は忘れましたが、最後の白髪の先生のお言葉が心にささりました。ここから頑張ろうと思えました。					
	・ 水産高校のノウハウ、生産技術の高さです。稚魚から生み出す生産現場の強みをかんじました。					
	・ 籠原先生の高校生や大学生への「学校生活を楽しもう」とのメッセージです。その実現のために我々教職員がいることを強く再認識できたため。					
	・ 高校生が自分たちの活動を一所懸命に説明していたところ。そして、傍で温かくホロー＆見守っていた先生の姿。					
	・ 発言、コメント全て知財教育に関わらず取り組んでいる皆さんが新しいことにチャレンジする精神、楽しみながら活動しているということを感じることができたこと。					
	・ 農業や工業の分野の取り組みの発表は視聴したことがありましたが、水産業の発表は初めてだったので様々な角度からの課題があるということが印象に残っています。					
	・ 知財や地域連携を積極的に行おうとする学校や教員、それに乗る生徒の前向きな雰囲気。					
	・ 水産高校の魚の解体ショーは見たことがありましたが、養殖について更にパワーアップされた取り組みをされていたのがとても印象的でした。知的財産教育の取り組みが、1人の担当者で終わることなく、他の先生方を巻き込んで実施されていることがとても印象的で、活力をいただきました。					
	・ 水産物のブランド化を図るのがすごいと思った。今後の課題研究に参考にしようと思う					
	・ 水産高校、農業高校の取り組み、または、各校の学科名そのものが今後の本校での取り組みのヒントになりました。					
・ 本セミナー全体を通して、感想や気づきをお答えください。	・ 生徒の発表内容と籠原先生の御講話（いつも若々しく、行動的でいらっしゃるの、元気をいただいています。）					
	・ 生徒さんたちや先生方の実践や、工夫を共有でき、参加者が自身の実践に重ね合わせることができたこと。					
	・ 先生方の前向きさや、高校生のチャレンジしようとする姿勢が素晴らしい。					
	・ 実際に現場にいる高校生や先生のお話にとっても説得力を感じたので、農業高校生である私たちが発表をすることで説得力が生まれるのではないかと考えた。					
	・ 皆さんの素晴らしい取り組みに感謝です。					
	・ 大阪府立農芸高校は、知財サイクルも人的なサイクルも継続してきた土台の上に、持続可能性を感じる取り組みが素晴らしかったです。					
	・ 知的財産を通して、生徒の体験・気づき・学び・充実した高校生活に繋がりたいです。					
	・ 籠原先生のやる気を引き起こすお言葉、説得力に感服いたしました。					
	・ 各高校生生徒間の意見交換を実施していただきたい。今の高校生は、外部から学ぶ機会が必要だと感じているため。					
	・ 参加した高校生が、「これからも現在の活動を続けていきたい」「活動の中で気づいた事を発展させていきたい」という趣旨のことを言っていましたが、自分たちも含めいろいろな発表に触れることで知財教育の一つ”気づきが大切だということに気づいた”ことが素晴らしいと思いました。					
・ 様々な視点で知財教育を知ることができた。						
・ 知財を目的としながらもその過程が重要であることを実感した。						
・ 部活動として専門分野をいかして他の学科と協力することで研究の幅が広がると思いました。研究はやって終わるのではなくやり続けることが重要なことがわかりました。私達もメロンの研究をしているので目標を立て挑戦し続けたいです。						

『知財創造教育セミナー第1回 （2022.04.26）』
アンケート結果

回答数15件				
	・ 参加しやすい時間で助かりました。			
	本研修に参加すると毎回感じるのですが、「例年通りではいけない」と自分を奮い立たせるきっかけになります。今回も校種を超えて、水産高校の発表を聞くことができ、また、府立農芸高校のレトルト食品も部活動として持続可能な形で実施されていることが印象的でした。本校も畜産科を中心にしたプロジェクトチームが、学科を超えて同好会・部活動として活動できないか模索しているので、他校の状況も聞けて参考になりました。			
	・ 発表会に参加したときよりもっと内容がわかるようになってもっといろんな高校の発表を聞きたいと思った			
	「新しいことに挑戦する。挑戦する事で、感動と疑問が出てくる。」 ・ 「中身のある楽しみ。その経験をたくさん積む。」など、 学びの根底に通じる素晴らしいキーワードに触れることができました。			
	・ オンライン開催は、旅費が必要ないので、いろいろな方が参加しやすいと思いました。			
	・ 参加者の立ち位置（生徒や指導者、研究者等）やステージ（知財教育への関わりの度合いや経験など）が様々なことが制約にならず、視点を広げることになっている点がこのセミナーの価値を高めていると感じました。			
・ 次回開催に向けての要望や気づきをお寄せください。	・ 今度は、実践発表さしていただけると助かります。			
	・ たくさんの先生方と生徒との交流の場を作れたら嬉しいです。 ・ 対面での形が理想です。			
	・ 鹿児島県の農業大学の学生が何でも良いので発表できたらいいですね。			
	・ 前任校の方にも受講を勧めました。INPITの知財校支援事業採択校が聞けば、どのようなことをすると”楽しい”か、ヒントが得られると思いました。			
	・ 多くの学校の取り組み事例は大変参考になります。			
	・ 簡単な配付資料等がありましたら、ダウンロードできるとよいかもしれません。 ・ 実践をもとに、その取組のねらい、仕掛け、工夫などを、取り組んでいる生徒が感じたことや、先生方から見た手ごたえと合わせて共有、意見し合えるような構成であるとよいと思います。（まさに今回のような形なのですが）			
・ その他	・ 運営ありがとうございました。			
	・ 一緒に学習させてください。			
	・ お世話になります。いつもありがとうございます。このような学びと出会いの場があることにただただ感謝です。			
	・ 陳内先生だからできたセミナーですね。素晴らしいです。有り難うございました。			
	・ セミナーの途中で急な電話対応があり、「退出」ボタンを押さずにやむを得ず離席してしまいました。お詫び申し上げます。			
	・ お世話になり、ありがと鵜ございました。自席からの参加で話しにくい点もありましたが、あえて別室でなく自席から参加することで「上席や周りの主事に見える、聞こえる」ように仕掛けました（笑）。直接実践ができない職に居ますが、学ばせていただいてばかりでは申し訳ないので、何かお手伝いができることがあればおっしゃってください。 おつかれさまでした、このような機会に感謝いたします。			
・ 発表希望についてお答えください。 （複数回答可）	選 択 肢	人数	割 合	備 考
	① 生徒発表希望あり	2	17%	
	② 教員発表希望あり	1	8%	
	③ 民間・行政からの発表希望あり	0	0%	
	③ いまのところ希望なし	9	75%	
・ 発表希望ありの方は、発表希望の時期とテーマを教えてください。	・ 2022年6月頃 廃棄物の有効活用			
	・ 2022年6月 学校農業クラブプロジェクト活動「エコフィード、豚脂の石鹼作成の取り組み」持続可能な養豚経営に関する活動			